

9月9日（金）

9番 小野泰秀 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 行政組織・機構の再編について	① 組織再編（部長制廃止等）の意図は ② 課制、室制の基準は	市長	
2 職員の人事管理について	① 人事管理に対する基本理念は ② 人事評価の基準は ③ 人事異動の目的と考え方は ④ 管理職の登用と昇進の基準は	市長	

17番 深田征三 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 税の確保について	① 少子高齢化が進む中、後継者不足により土地等固定資産の放棄は、大きな問題である。 その実態と、税収対策について伺う。	市長	
2 農業政策について	（1）農地保全の現状は。 高齢化や担い手不足により遊休農地が増加し、労働力が、減少している。こうした現状把握をした上で、農業公社のあり方、農事組合法人の活用は。またどのような将来像をもって、農地の保全に結びつけていくのか。	市長	

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の財政について	<p>① 財政の現状と課題について 平成32年度以降、40億円もの普通交付税の減少を見据え、行政改革が推進されている。一方合併後、新市として維持していくために、ケーブルテレビ、消防庁舎、新庁舎、葬斎場、学校耐震化など多くの大型事業を展開している。しかし、この行政改革と大型建設事業計画は、市民にとっては非常に理解しがたいことと思うが、この矛盾ともとれる現状を市民にどのように理解させるのか。建設計画の必要性とその考え方を問う。</p> <p>② 課題解決の方策について 合併前に引き続き、多くの借金をして社会資本、住環境整備を展開してきた。健全な財政運営を継続していくためには、今後の建設に伴う借金の返済はどのように計画し、実行していくのか。</p>	市長	

11番 安藤豊作 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 行政組織・機構再編計画について	<p>(1) 職員定数管理の適正化について</p> <p>① 新採用職員数の減により、職員の年齢バランスが異常になってくるが、その対応策は。</p> <p>② ワークシェアリングの取組について</p> <p>③ 人事考課制度の取組について</p>	市長	
2 緊急通報装置貸与サービス事業について	<p>① 雷などによる電話機の故障が多いと聞いているが、その実態と対応策を問う。</p> <p>② この事業は、ケーブル事業の活用はできないか。</p>	市長	
3 有害鳥獣対策について	<p>① 狩猟期間中、いのししに対する捕獲助成を行うべきでは。</p> <p>② 捕獲隊の結成について</p>	市長	

19番 渡辺一文 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 土木予算について	① 合併前と比較して土木関連予算が減少し、市道等の整備、補修が遅れているように思われる。市としての対策を伺う。	市長	
2 部長制の廃止について	① 部長制を廃止し、課長制にするというが、現行のままでは悪いのか。	市長	
3 葬儀参列について	① 葬儀の際には市長が、市の代表としてすべての葬儀に参列するようにしてはどうか。	市長	
4 清川中学校の耐震化について	① 新清川中学校校舎完成までの間の耐震対策については、どのようになっているのか。	教育委員長	
5 緒方駅から市民病院へのアクセスについて	① JRを利用して市民病院に来られる方々が「緒方駅の裏から市民病院に通じる近道が欲しい。」との声が聞かれるが、何とか実現できないか。	市長	

9月13日（火）

8番 長野健児 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の土地利用型農業について	① 本市の土地利用型農業の現状をどのように捉えているのか伺う。 ② 農地保全についての考えを伺う。 ③ 推進をする作目について伺う。 ④ 企業の農業算入に対しての取組は。 ⑤ 農林業振興公社の活用はできないか。 ⑥ J Tの葉たばこ廃作奨励金により大規模な農地の変動があると思われるが、その対策について伺う。 ⑦ 荒廃農地にメガソーラーの導入を検討できないか。	市長	

16番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 職員採用のあり様について	① 現行の職員構成をどのように捉えているのか。 ② 有資格者（技能職）の採用が必要ではないか。 ③ 採用枠の拡充対応を考えるべきではないか。	市長	
2 子ども手当の制度変更について	① 新たに受給申請が必要となるが、受給者把握は万全か。 ② 滞納等は天引きができるようになるがその対応策は。	市長	
3 特産品における産品開発状況について	① 現状における取組状況は。 ② 7町における一膳一食、この地この味との視点から地元産品一品づくりに取り組めないか。	市長	

21番 生野照雄 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 重要施策についての議会対策を伺う	<ul style="list-style-type: none"> ① 議会に対して説明不足が多々みられる点について ② 二元代表制の中で議会軽視に見えるが ③ 執行部は緊張感と自信をもって施策と議会答弁に取り組むべきではないか 	市長	
2 林業振興について	<ul style="list-style-type: none"> ① 森林・林業再生プランと市町村森林整備計画の市の取組について ② 新庁舎や中学校・消防署改築での地元材（杉）の使用について ③ 市有林を含めた山林の境界確認について ④ 再造林と有害鳥獣対策について 	市長	

12番 赤嶺謙二 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 里道の維持・管理について	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内にある里道の町ごとの箇所数は。危険箇所の把握数は。 ② 里道の維持・管理の基本は、利用者が行うこととなっている。しかし、利用者ではどうにもならない箇所もある。 防災の観点から、危険箇所については見直すべきでは。 ③ 維持・管理の年間予算を、防災計画の一環として増額すべきでは。 	市長	
2 ふるさと給食について	<p>(1) 地元の食材を使った「ふるさと給食」は、子どもたちが住んでいるふるさとの産品を知り、自然の恵み、命の大切さを知る良い機会となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市の「ふるさと給食」の実施状況は。 ② 成果と反省点は。 ③ 取組の工夫は。例えば、生産地での収穫作業、生産者の給食への招待など 	教育委員長	

4番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 上水道、下水道等の管理について	① 東日本大震災で震災直後から、ライフラインの早期の復旧、その確保が住民の生きる源になることを強く感じた。特に水である。豊後大野市はどうだろうか。上水道、簡易水道、その他、また下水道、農業集落排水、合併浄化槽など、いつ何時大きな災害が起こっても、早期の復旧ができるのか。市民が安心安全で生活するために、現在の状況、これからの対応について伺う。	市長	
2 空き家対策について	① これまでも、市内の空き家等の調査は行われていた。年々増加しているであろうと考えられる。現在の空き家等の状況、またそれを利用したい方々への情報発信、相談受付等はできているのか。これまでの取組は。そしてこれから将来に向けての構想等を伺う。	市長	

平成23年第3回（9月）定例会 一般質問

9月14日（水）

6番 小野順一 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 公共交通総合連携計画について	① 個別予約制のデマンド運行地域においては、10月1日の当初計画どおりの試験運行はできないか伺う。 ② デマンド運行地域内の移動、例えば老人クラブの活動や高齢者の地区公民館での活動のためなどに利用できないか伺う。	市長	
2 地球温暖化の防止対策について	① これまでの取組と成果について ② 今後の計画について伺う。	市長	

1番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 保育所民営化は、保護者や移籍する職員の負担が増えるのではないか</p>	<p>① 保育所の民営化によって、関係する市職員の身分や待遇はどうなるのか。</p> <p>② これまで、公立保育所の施設整備や改築に係る費用はどのように賄ってきたのか。民営化後もこのような費用を行政が措置しなければ、保護者の負担が増えるのではないか。</p> <p>③ 保育は、サービスではなく福祉である。行政としての責務をどのように果たしていくのか。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 自然エネルギーを促進し、原子力発電から撤退を</p>	<p>① 原子力発電の技術は未完成で、原発事故には他の事故とは「異質の危険」がある。原発から撤退し、自然エネルギーに転換していくべきと思うが、市長の見解は。</p> <p>② 豊後大野市は伊方原発から 80～100 km 圏内（市役所までは 88 km）に位置する。伊方原発に事故があった場合、市はどう対応するのか。伊方原発は撤退すべきと思うが市長の見解は。</p> <p>③ 環境省によると、太陽光、中小水力、地熱、風力だけでも、実際のエネルギーとなり得る資源量は 20 億キロワット以上と推定され、原発 54 基の発電能力の約 40 倍である。また、都道府県別には、自然エネルギーの供給量と自給率は大分県が日本一である。 豊後大野市の供給量と自給率はいくらか。またそれを更に高めていく方策を考えてはどうか。</p> <p>④ 東京電力福島第一原発事故で放射能に汚染されたがれきなどの廃棄物を、全国の自治体や事務組合で処理されるのではという報道がある。 その真相と市の対応は。</p>	<p>市長</p>	

7番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市を元気にしていく方策について	<p>① 新庁舎等の公共建築物の備品の調達について、市の考えを伺う。 経済効果アップと市内で頑張っている事業所・商店を支援するために、備品は極力地元で調達を。</p> <p>② 「市報に広告を載せませんか」と広告を募集する有料広告事業を実施しているが、事業収入は毎年低下している。当初の目的である財源確保、市民サービスの向上、地域経済の活性化を図るためには今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>③ 豊後大野市が誇れる観光資源を載せた名刺用台紙を作成し、職員をはじめ団体や事業所等多くの市民に活用していただき、「豊後大野のすばらしさ」をPRしよう。市は、名刺用台紙を作成する考えはないか伺う。</p>	市長	

3番 和田哲治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 行政組織の再編計画は、大いに期待するが、なぜ部長制は廃止なのか。「必要としない。」との市長の公約、その見識について。	<p>① 見識とは『物事の本質を見通す、優れた判断力。また、ある物事についてのしっかりした考え、見方。』と広辞苑に記載されています。 そこで、部長制廃止は市長の「選挙公約」、何をどう感じて不要論となったのか、見識を伺います。</p>	市長	
2 誘致の計画から7年目、大野町に進出が決定している「大型企業牧場」。現状をどう把握しているのか、市の見解と認識について。	<p>① 未だ建設に着手しないまま、今日に至っている「大規模牧場」、実現が大きく頓挫する事態（報道）となったが、これまで誘致を斡旋してきた大分県や市当局の、今後の見解を伺います。</p> <p>② 広大な優良農地が、当初目的以外に使用されることが予想される事態となっている。地元住民への説明や、清算人への申し入れ等、喫緊の対応策について市の見解を伺います。</p>	市長	